

2021年11月12日

各位

性的マイノリティに関する取り組みを評価する「PRIDE 指標」で 2年連続最高評価「ゴールド」を受賞しました！

当社（社長：大田 勝幸）は、企業の性的マイノリティに関する取り組みの評価指標「PRIDE 指標」で昨年に続き最高評価である「ゴールド」を受賞しましたので、お知らせいたします。

work with Pride



「PRIDE 指標」は、性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する任意団体「work with Pride」^{※1}が、日本で初めて策定した企業・団体などにおける性的マイノリティに関する取り組みの評価指標です。「行動宣言」「当事者コミュニティ」「啓発活動」「人事制度/プログラム」「社会貢献/渉外活動」の5つの分野での採点により、「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の3段階で評価されます。

当社は、従業員一人ひとりが多様性（ダイバーシティ）を受容（インクルージョン）することが、組織全体としての新たな価値創造を促し、グループの成長につながると考えております。特別休暇や、各種手当、赴任等に伴う特別給付金、その他福利厚生など、配偶者の存在を要件として適用する人事諸制度について、同性パートナーも配偶者と同様に扱い、適用しております。

また、全社員を対象とした性的マイノリティ・SOGI^{※2}等に関する理解促進のための継続的な研修や社内広報、相談窓口の設置などを実施しております。

こうした取り組みが評価され、2020年度に続き、2021年度も最高評価を受賞しました。

ENEOSグループでは、人権や多様性の尊重を、役員および従業員が遵守・実践すべきものとしてグループ行動基準に明記しております。当社は今後も、自認する性に基づいていきいきと働ける環境整備をはじめとしたダイバーシティ&インクルージョンの推進を積極的に図り、継続的な企業価値の向上に繋げるとともに、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献してまいります。

※1 企業による実行委員会を毎年組成し、NPO 法人グッド・エイジング・エールズが事務局を務めている団体

※2 Sexual Orientation & Gender Identity の略で、すべての人が持つ性的思考、性自認のこと

以上